
○空き巣に関する注意喚起

先週、オーデルゲム区 Boulevard du Souverain に面する在留邦人が多く居住するマンションで邦人宅への空き巣が発生しました。

数日間の留守中に2階（日本式）のバルコニー出入り用ドアの外枠を破壊し、侵入された模様です。なお、同じマンションでは過去にも空き巣及び同未遂が発生しています。

玄関ドアは、容易に開けることのできない構造になっておりましたが、バルコニーに面した木製出入り用ドアの外枠ごと外して室内に侵入したようです。さらに、玄関ドア（内開き）内側に机を置いて家人が帰宅しても玄関ドアが容易に開けられないようにしてありました（室内を物色中に家人が帰宅してもすぐに室内に入れずドアを押し開けようとしている間に、逃走時間を稼ぐためだと考えられます。）。また、警察の鑑識による調査で指紋は検出されませんでした。

一般的な自宅防犯の留意点は以下のとおりです。

- ・ベルギーでは人口10万人あたりの侵入盗の発生率が日本に比べ約10倍もあることを認識しておいてください。
- ・共同玄関が施錠されているマンションにおいても、共同玄関及び駐車場から他の住人と一緒に容易にマンション内に入ってくるができますので、自宅の玄関等の侵入が可能な場所を強化することが重要です（必要に応じ大家に依頼する）。

※見知らぬ方が玄関に入ろうとして戸惑っている時、親切心からドアを開けてあげるのは、ある面危険を招き入れている場合もありますので、慎重に行動することをお勧めします。

- ・他の住人と情報を共有し、不審者を敷地内には入れないようにする。
- ・短時間の不在（買い物や子供の送迎等）においては、テレビやラジオをつけ、中に人がいるように見せかけることもある程度効果的と言えます。
- ・自宅や他の住人宅において侵入若しくは未遂があった場合、同じマンションで同様の事案は当分ないということではなく、侵入が容易な場所として再度狙われる可能性があることを認識しておいてください。
- ・万一、侵入されることも想定し、貴金属等の財産は分散保管することをお勧めします。

その他の詳細な防犯対策は、当館ホームページ（領事部案内「安全の手引き（2011年1月改訂）

<http://www.anzen.mofa.go.jp/manual/bergium.html>」に記載していますので、参考としてください。